

見える！聞ける！わかる！市政に！！

明るく元気な

まちづくり

全力を尽くします



市民の皆さんの
喜ぶ声が聞きたい。
そして笑顔が見たい。

2月13日に就任した西川喜代治市長に、就任しての感想やこれからの抱負などについて聞きました。

問 初登庁され、初めての仕事が職員への訓示でしたが、約2000人の職員を前に市長としてあいさつをされた時のお気持ちは？

答 あれだけの職員の前立って話をさせていただく、緊張感や、今日おられたおおよそ3倍ぐらいの職



員の皆さんのリーダーとしてまじりくりをしていくということで、本当に重い責任をひしひしと感じながら、挨拶をさせていただきました。

問 はじめての訓示ではどのようなお話を？

答 私は、昨年の6月頃から約8か月間ほどかけて、この市内をずっと回らせていただき、本当に中小企業の方々の厳しい状況を目の当たりにしてきました。公務員というものは、厳しい中で税金から給料を

いただいているというのを認識し、もう少し厳しい目で、自ら責任を持つような態度で物事を考え、そして行政を進めて行くことが本当に大事であると思います。そのために、これからはまず現場を見、市民の方々が生活している地域を見、そしてその場所でご意見を聞き、検討し、納得し、お互いの気持ちに分かる、こういう行政に取り組んでいただきたい。行政の立場からではなく、市民の立場に立つて物事を考え、間違いない事業というものを選択していただきたい。「市民の生活を大切に」する「人・地域を大切に」する「明るい楽しいまち」を共に築いていきたい、そのように申し上げました。

問 今まで部長として市役所へ勤められていましたが、新しい市長として就任されていかがですか？

答 市長に当選したときは、実感として何も湧いてなかったのですが、今日登庁して初めて職員の前で挨拶を行い、これまでは、行政という中で首長という背もたれがあったわけですが、これからは、私が背もたれになるのだと実感しました。また、まちづくりに対して、私が公約してきたことについて、当然、議会対応についてもですが、積極的に対応していくという責任感、これらをどう果たしていくのか、本当に心の中

に重く受け止めているというのが実感です。

問 今回の選挙での得票差をどのように受けとめられていますか？

答 約1万8千票と1万5千票という形での差はいただいたわけですが、これからは、「5万4千市民」に対し、同じように公正公平に物事を判断させていただきたい、サービスをさせていただきたい、そう思っています。特に、選挙がらみで、あとにしろが残るとか、そういうことがよく言われるわけですが、私はそのことは払拭して、高島市民のために、元気なまちづくりを、明るいまちづくりをしていきたいと思っています。

問 当選から約2週間。本格的には本日(2月13日)からですが、この間、実際に何からやっていたのかなど、具体的に考えがまとまったことはありますか？

答 公民館やコミセンの使用料の無料化や、国民健康保険税の軽減措置については、この3月議会で条例改正をし、一定の事務期間を経て、実行へと進めていきたいと考えています。また、もう一つ公約にありました、市内業者への発注については、現在契約しているものは除き、4月1日からは市内にあるもの、できるものは全て市内業者への発注ということで指示をさせていただきたいと考えています。このように、できるものはすべてでも取り組んでいきたいと思っています。

問 具体的には？

答 先ほど言いましたように、市外業者への発注ではなく市内業者への発注に重点を置くことや、単発的で終わった後に何も残らないようなイベントなどについては極力中止していくなど、それは、予算査定の中で、一つひとつ判断していきたいと思っています。

問 マニフェストに「情報を見ていただく(公開)、まちの将来を見ていただく。」とありますが？

答 情報を見ていただくには「広報」と「公開」という面があると思います。「広報」というものは、今までのように、良いことばかりをお知らせするというのは市民の方

問 これまでの市政から受け継ぐものと変えていくものはありますか？

答 私は健康福祉の分野はよく理解しております。その他の分野についても、前市長がやられてこられた良いところはやはり引き継ぎさせていただきます。足りないところは私の方で取り組んで行きたいと思っています。



西川 喜代治 (にしかわ きよじ)

【プロフィール】
昭和23年 高島市今津町に生まれる
昭和42年 旧今津町役場勤務
平成20年 高島市役所退職
平成21年 新市長に就任